

**定 員** 定員100名（先着順：定員に達した時点で大阪大学大学院言語文化研究科HPに掲示します。）  
本講座は、社会と大学を直接的に結び、大学の基礎・応用研究を学校の現場で活かしていただくことを主眼としており、中学、高校、小学校などで英語教育に携わっている方ならびに携わることを目指している方を対象にしています。それ以外の方は定員に余裕がある場合に限り、受講可とさせていただきますので、本研究科HPでご確認ください。（規定以上の）講義を受講された方には大阪大学総長名の講座修了証書を授与いたします。

**教材作成・連絡郵送費** 7,500円

**参加申込み（受付期間 7月1日（金）～7月15日（金）期限厳守）**

- ①E-mail（アドレス：genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp）または下欄の「受講申込用紙」で、氏名（フリガナ）、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、職業、勤務先名、選択講義（○印をつけてください）をご記入のうえお申し込みください。  
なお、「受講申込用紙」で申し込まれる方は、下記宛先まで**郵送**または**ファックス**でご送付願います。  
宛先：〒560-0043 豊中市待兼山町1-8 大阪大学言語文化研究科総務係  
FAX：06-6850-5865
- ②E-mailによる受講許可通知をお受け取りいただいた後に、下記のa）またはb）の方法によりお振り込み願います。  
ゆうちょ銀行の振替口座へ受講者氏名でお振り込み（手数料はご本人負担で）願います。  
a）【ゆうちょ銀行から振り込む場合】  
口座番号：00960-0-168100  
口座名義：大阪大学 言語文化研究科
- b）【ゆうちょ銀行以外の金融機関（※一部を除く）から振り込む場合】  
銀行名：ゆうちょ銀行  
金融機関コード：9900  
店番：099  
店名（カナ）：〇九九店（ゼロキユウキユウ店）  
預金種目：当座  
口座番号：0168100  
カナ氏名（受取人名）：オオサカダイガクゲンゴブンカケンキユウカ
- ※ゆうちょ銀行への振り込みが可能かどうかのお問合せは下記連絡先へお願いします。  
ゆうちょ振込お問合せセンター（電話番号）0120-253811 ＜受付時間＞24時間（年中無休）

**会 場** 大阪大学中之島センター（<http://www.onc.osaka-u.ac.jp> 地図掲載）（所在地 大阪市北区中之島4-3-53）

**交通手段** 電車によるアクセス **京阪中之島線** 中之島駅より徒歩約5分 **阪神本線** 福島駅より徒歩約9分  
**JR東西線** 新福島駅より徒歩約9分 **JR環状線** 福島駅より徒歩約12分  
**地下鉄四つ橋線** 肥後橋駅より徒歩約10分

バスによるアクセス **大阪市バス** 53系統・75系統 大阪駅前バスターミナル→田養橋下車 徒歩1分  
**大阪市バス** 107系統 天満橋→淀屋橋→肥後橋→土佐堀一丁目下車 徒歩6分

**テーマ討論懇親会**  
講座修了証授与式後、講師陣と受講者とが親しく意見交換する場です（軽食と飲み物を提供）。  
（参加費1,000円程度：お振り込みをなされずに、初日に会場受付でお支払いください。）

- ・お振り込みいただきました教材作成・連絡郵送費は、欠席された場合でも、返金できませんので、ご了承ください。
- ・本公開講座修了証書は全講義の60%以上に出席された受講生の方に授与いたします。それ未満の方には受講証明書を後日送付いたします。
- ・お申し込みの際に必要な受講のみなさまの情報は、連絡先の把握及び今後の公開講座運営上の統計資料作成、関連情報の提供以外には使用いたしません。

**問い合わせ：大阪大学言語文化研究科総務係**（E-mail: genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp、TEL:06-6850-5855）

**主催：大阪大学大学院言語文化研究科** <http://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/>

**後援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会**

平成23年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

## 「教員のための英語リフレッシュ講座」受講申込書（記載漏れがある場合には受講できません）

(フリガナ)				年 齢	歳
氏 名					
住 所	(〒 - )				
	E-mail（必須）： 日中連絡可能な電話番号： ( )				
職 業 (必須)		学校名	テーマ討論懇親会		
		TEL： ( )	参加する・参加しない		
8月9日（火）選択講義	( ) 「小学校英語活動の実践をどう中学につなぐか」 ( ) 「和英・英和翻訳－認識の改変」				
8月10日（水）選択講義	( ) 「教室で役立つ英語の歴史」 ( ) 「英語リーディング方略の学習」 「コミュニケーション」 ( ) 「基礎」／ ( ) 「中級」／ ( ) 「上級」				

平成23年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

## 「教員のための英語リフレッシュ講座」

日程：平成23年8月8日（月）、9日（火）、10日（水）、11日（木）、12日（金）  
会場：大阪大学中之島センター

オーラルコミュニケーション重視の授業になって久しいが、中学、高校の（リスニング以外の）英語力は着実に低下しつづけている。また教員の態勢が整わない段階での小学校英語の導入や「授業は英語で」という新学習指導要領の方針にどう対処するかという難題も抱え、戸惑いと混乱が広がっている。

本講座では、教育改革が無定見に揺れる中、（理論的な根拠もなく英語教育の失敗の元凶とされた）「文法と訳読」が外国語学習環境での英語力の基盤育成に不可欠であるとの認識の下に、学校教育の現場でも応用可能な現代の文法・語法・辞書研究の成果を紹介するほか、関連研究領域（言語習得論や学習動機・方略研究、脳機能研究など）の最近の理論的な知見を踏まえ、英語力を着実に伸ばし運用能力の育成にもつながる授業のあり方を（ネットやCALLの活用を含め）総合的に考察するだけでなく、小学校英語にいかに対応するかについても論じる。教員それぞれの造詣・技量を適切に活かし、生徒も理解・納得できる魅力的で効果的な教育の実践を期するものである。また「発音の動的な変化の仕組み」「音読の技法」を分かりやすく解説・訓練するとともに、「ネイティブスピーカーによる体験授業」を通じて英語運用力の向上を図るほか、文学作品の意味・語用・文体論的分析も行ない知見を深める。全体討論では、英語教育を巡る旬なテーマを中心に現場での疑問についても討議する。

### 講師および演題

**8月8日（月）**  
10:00～12:30「日本人に相応しい英語教育－言語習得研究を踏まえて」（最初に講座オリエンテーション） 成田一教授  
13:10～15:00「英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀」 成田一教授  
15:10～17:00「生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法」 (京都外国語大学) 鈴木寿一教授

**8月9日（火）**  
10:00～12:00「ICTを活用した新しい英語教育」 (大阪教育大学) 吉田晴世教授  
12:50～14:50「コーパスと英語辞書と語彙指導」 (京都外国語大学) 赤野一郎教授  
\*15:00～17:00「小学校英語活動の実践をどう中学につなぐか」 (立命館小学校) 田縁眞弓先生  
\*15:00～17:00「和英・英和翻訳－認識の改変」 アンドリュー・村上スミス准教授

**8月10日（水）**  
10:00～12:00「『国際英語』教育の理論と授業実践」 日野信行教授  
\*12:50～14:20「教室で役立つ英語の歴史」 渡辺秀樹教授  
\*12:50～14:20「英語リーディング方略の学習」 (関西大学・大学院) 池田真生子准教授  
\*14:30～17:00「コミュニケーション基礎」 アンドリュー・ロス特任准教授  
\*14:30～17:00「コミュニケーション中級」 デイミアン・リヴァーズ特任准教授  
\*14:30～17:00「コミュニケーション上級」 アンドリュー・村上スミス准教授 ジェリー・ヨコタ教授

**8月11日（木）**  
10:00～12:00「大学英文法の内容と指導法」 岡田伸夫教授  
12:50～14:50「認知的視点から見た英文法」 早瀬尚子准教授  
15:00～17:00「英語の語感を磨く」 (関西学院大学大学院) 八木克正教授

**8月12日（金）**  
10:00～11:00「シェークスピアのことばと演出」 山田雄三准教授  
11:00～12:00「アメリカ現代小説の翻訳」 木原善彦准教授  
12:40～13:40「オセアニアの先住民/移民文学と文化」 小杉世准教授  
13:40～14:30「英文を読む楽しみ」 沖田知子教授  
14:40～15:50「英語教育の歴史から学ぶ；社内英語化の愚」(全体討論トピック) (和歌山大学) 江利川春雄教授/成田一教授  
15:50～16:50 全体討論「運用英語へ偏向した教育の危機」 講師陣  
16:55～17:15 講座修了証授与式 大学院言語文化研究科長 木村茂雄教授  
17:30～19:00 テーマ討論懇親会（講師陣のミニスピーチと意見交換）

- \*8月9日（火）の「小学校英語活動の実践をどう中学につなぐか」と「和英・英和翻訳－認識の改変」、10日（水）の「教室で役立つ英語の歴史」と「英語リーディング方略の学習」、「コミュニケーション基礎・中級・上級」は選択です。**申し込み時に必ず選んでください。**
- 会場では8日（月）に本講座の講師陣が講座の講義に沿って執筆した『英語リフレッシュ講座』（大阪大学出版会）を著者割引1,900円で頒布いたします。



## 講師プロフィールならびに講義内容



### 日本人に相応しい英語教育－言語習得研究を踏まえて 英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀

成田 一

言語文化教育論講座教授 英日対照構造論・機械翻訳・言語教育/計画専攻

著書に『パソコン翻訳の世界』（講談社）、編著に『英語リフレッシュ講座』（大阪大学出版会）ほか。英語教育総合学会会長。  
講義内容：文法・訳読の役割を見据え、運用能力の育成にも繋がる授業のあり方を、教師の力量を活かし生徒の学習意欲を高めるという視点から総合的に検討。「小学校英語」、「英語で授業」、「社内英語化」などの問題点も論じる。  
講義内容：「ダイナミックな発音の仕組みの理解を踏まえた発音・聴解訓練」の解説と訓練を行うとともに、発声の生理的仕組みをMRI動画やMRIを基に成型した声道模型、音読時の脳活動画像などを示して解説する。



### 生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法

鈴木寿一

京都外国語大学教授 英語教育学（指導法研究）専攻

4技能、文法、語彙指導法を実証的に研究。共編著に『より良い英語授業を目指して』（大修館書店）。関西英語教育学会副会長。  
講義内容：音読は英語力を伸ばすために不可欠だが、不適切な指導が行われていることが多い。講義では、問題のある音読指導を取り上げながら効果的な音読指導を行うための留意点を確認後、効果的な音読指導法を紹介する。



### ICTを活用した新しい英語教育

吉田晴世

大阪教育大学教授 英語教育学・神経認知言語学専攻

編著に『スペシャリストによる英語教育の理論と応用』（松柏社）、『ICTを利用した外国語教育』（東京電機大学出版局）など。  
講義内容：ICTを使う意義について考える。教育機器としての可能性は至るところで述べられ、数々の実践結果からも証明されている。学習者にとってICTによる学習プロセスから得ることができるメリットとは何であろうか。



### コーパスと英語辞書と語彙指導

赤野一郎

京都外国語大学教授 語法研究・英語辞書学・コーパス言語学専攻

『ウィズダム英和辞典』（三省堂）など、コーパスに基づく語彙研究と辞書編纂に従事。英語コーパス学会会長。  
講義内容：最近の辞書はコーパスに基づき編纂されている。その特徴の1つは豊富なコロケーション情報だが、語彙指導においてもその重要性が認識されつつある。講義ではコロケーションについて多面的に考える。



### 小学校英語活動の実践をどう中学につなぐか

田縁真弓

立命館小学校英語科アドバイザー 早期英語教育専攻

公立小学校英語活動助言者、各教育委員会における指導講師、京都教育大学非常勤講師などを務める。  
講義内容：本格実施される小学校英語活動を受け中学校では新学習指導要領を視野に入れた新しい取り組みが行われようとしている。講義では、「めざす英語力」の連携を「音声から文字への指導」に焦点をあて、先進校での具体的な実践をもとに考える。



### 和英・英和翻訳－認識の改変

アンドリュー・村上スミス

言語文化教育論講座准教授 日本文学・比較文学専攻

文学博士。比較文化、異文化コミュニケーションにも関心を寄せ、大学院では「多文化主義とバイリンガリズム」も講義。  
講義内容：色々の固定観念・思い込みに束縛された翻訳が多い。講義では、「直訳・意訳」「原文の優越性」「正しい翻訳文」「翻訳者の地位」「外国語学習の手段としての翻訳」についての意識を改める必要があるかどうかを検討する。



### 『国際英語』教育の理論と授業実践

日野信行

言語文化教育論講座教授 『国際英語』教育専攻

元ラジオ「百万人の英語」講師。著書に『トータルで650点：私の英語修業』など。大阪大学共通教育賞を12回受賞。  
講義内容：非母語話者の英語を尊重する『国際英語』（EL/ELF）の概念について論じるとともに、授業当日の世界各国の英語ニュースを用いる本講義者の授業など、『国際英語』教育の実践の取り組みを紹介する。



### 教室で役に立つ英語の歴史

渡辺秀樹

言語認知科学講座教授 英語史・比喩研究専攻

訳書に『コーパスを活用した認知言語学』（大修館）がある。日本中世英語英文学会副会長、評議員。  
講義内容：中高校生の授業中の質問について、即座に、的確に例を出して答えるためには、英語の歴史に関する基礎知識が不可欠であることを認識してもらい、発音・語彙・文法の諸側面について実例で考察する。



### 英語リーディング方略の学習

池田 真生子

関西大学・大学院准教授 外国語学習法・教材論専攻

外国語教育学博士。著書に『EFL Reading Strategies』（松柏社）など。外国語教育メディア学会新人賞受賞。  
講義内容：新学習指導要領では、音声だけではなく、文字によるコミュニケーション能力も重要視されている。講義では、英文を読めるようになるために必要とされる方略とその指導方法を、英語学習全体を視野に入れつつ探りたい。

### コミュニケーション



### 基礎 Fostering a collaborative environment in class

アンドリュー・ロス

特任准教授 外国語としての英語教育法専攻

TESOL修士、教育学準修士。  
講義内容：教室での協同学習環境に向けて英語教師が利用できる方略を実践する。



### 上級 ①Rhetorical Literacy, Multicultural Literacy

ジェリー・ヨコタ

現代超域文化論講座教授 比較文学・演劇学専攻

文学博士。パフォーマンス理論、ジェンダー理論を中心に、芸術を国際コミュニケーションのメディアとして捉えて研究。  
講義内容：英語コミュニケーション能力＋多文化リテラシーの育成を目指す模擬授業の後、種々の情報源の活用や討論の運用について考える。



### 大学英文法の内容と指導法

岡田伸夫

言語文化教育論講座教授 英文法専攻

著書に『英語教育と英文法の接点』（美誠社）など。大学英語教育学会副会長、日本英語学会理事。  
講義内容：大学レベルの生の英語には日本の高校生用英文法参考書で取り上げられていない構文が使われていることを実例によって示し、大学英文法にどのような内容を盛り込むべきかについて考察する。



### 認知的視点から見た英文法

早瀬尚子

言語認知科学講座准教授 認知言語学専攻

英語構文と意味、主観性、視点が研究テーマ。著書に『英語構文のカテゴリー形成』『認知言語学の基礎』『認知文法の新展開』など。  
講義内容：「言語形式は我々の捉え方を反映する」という認知言語学の考え方を基に、前置詞や動詞の多義、構文の書き換えに伴う意味の違い、日英発想法と英作文パターンなどを扱う。



### 英語の語感を磨く

八木克正

関西学院大学大学院教授 英語学・英語phraseology専攻

新著に『英語の疑問 新解決法』（三省堂）、各種英和辞典・英語語法辞典の編纂者。『英語教育』誌QB回答者。英語語法文法学会前会長。  
講義内容：海外の新聞・雑誌など、英語で発信される情報はクリックひとつで手に入る。講義では、この英語を理解し、さらには自ら発信する力、すなわち英語コミュニケーション能力を養う英語教育の内容と方法はいかにあるべきかを考える。



### シェイクスピア劇のことばと演出

山田雄三

言語文化システム論講座准教授 近代英国文化・演劇論専攻

著書に『感情のカルチュラル・スタディーズ』（開文社出版）、『英語文学の越境―ポストコロニアルカルチュラル・スタディーズの視点から』（英宝社）など。  
講義内容：シェイクスピアの時代の演劇では、韻文と散文がどのように使い分けられていたか、また韻律の変化が演出にどのような効果を与えていたかについて概観する。



### アメリカ現代小説の翻訳

木原善彦

現代超域文化論講座准教授 現代アメリカ文学・文化専攻

アメリカの現代小説を研究。著書に『トマス・ピンチョン』（京都大学学術出版会）、訳書にトマス・ピンチョン『逆光』（新潮社）など。  
講義内容：英語で書かれた小説を単に「読む」のではなく、「翻訳する」という目で見たととき、どのような新たな側面が見えるだろうか。翻訳の現場で出会う諸問題とその処理について考える。



### オセアニアの先住民/移民文学と文化

小杉 世

言語文化比較交流論講座准教授 オセアニア・南太平洋先住民文化・文学専攻

オセアニアにおける先住民/移民文学と文化形成・先住民言語教育の研究。共著に『英語文学の越境』（英宝社）など。  
講義内容：オセアニアは先住民言語とヨーロッパ系言語、ビジン語、アジア系移民言語による多様な言語文化圏を形成している。講義では、現地におけるポストコロニアル文化の諸相を、言語事情と教育の現状、先住民/移民文学に焦点をあてて紹介する。



### 英文を読む楽しみ

沖田知子

言語コミュニケーション論講座教授 英語学専攻

意味論・語用論・文体論の観点から「ことば学」を研究。著書に『謎解き「アリス物語」』（PHP新書）など。  
講義内容：ことばの選択や文脈なども含め「なぜこのような言い方をし、何を言おうとしているのか」を意識して「虫・鳥・魚の目」さらには「人の目」の観点から、立体的にことばとところを読み解く「英文楽」をめざしたい。



### 英語教育の歴史から学ぶ

江利川春雄

和歌山大学教授 英語学習史・政策史研究専攻

著書に『日本人は英語をどう学んできたか』（研究社）、『英語教育のポリティクス』（三友社）など。日本英語教育史学会副会長。  
講義内容：明治以来の日本における英語教育行政の歴史とゆとり教育以降の教育改革による読解力を中心とした英語力と学習意欲の低下の現状を踏まえ、日本人に相応しい英語教育法と協同的な学びの方策を提言する。